

## 第5回中空知広域水道企業団水道料金審議会 議事概要

開催日時 令和元年6月4日(火) 13:57~14:26  
開催場所 滝川市まちづくりセンター 会議室A  
出席委員 峯村会長、高村副会長、眞島委員、居林委員、岡委員、那須委員、山崎委員、大河内委員、荒岡委員、二口委員、小林委員、今野委員  
出席事務局職員 加藤企業局長、横山営業課長、児玉工務課長、江末営業課主幹、吉尾工務課主幹、桜井営業課副主幹、金子営業課副主幹、加地滝川営業所長、岩崎砂川営業所長、山田歌志内営業所長、大津奈井江営業所長、松本営業課主任級主事  
配布資料 会議次第(別紙1)  
水道料金審議会の主な意見等(まとめ)(別紙2)  
中空知広域水道企業団水道事業水道料金に関する事項の審議答申(案)(別紙3)

### 1 開 会 会 長

### 2 審 議 進行：峯村会長

#### (1) 水道料金に関する事項の審議答申(案)について

桜井営業課副主幹から説明

説明資料「水道料金審議会の主な意見等(まとめ)」(別紙2)

「中空知広域水道企業団水道事業水道料金に関する事項の審議答申(案)」(別紙3)

会 長：事務局より水道料金に関する事項の審議答申(案)について、説明があったが、何か質問、意見はあるか。

会 長：このような文章は一言一句違うだけでも解釈が変わってくる。事務局と文言等の関係も含めて打合せをさせていただくため、ここで休憩とする。

会 長：審議を再開する。事務局から説明があった答申書(案)について、審議会としての答申として原案の承認を委員の皆様にお諮りする。  
答申書(案)について、本審議会の答申とすることに異議はないか。  
(異議なしの声あり)

会 長：それでは水道料金に関する事項の審議答申書として決定する。  
また、答申書については、私と副会長の2人で企業長に答申を行いたいと思うが、よろしいか。  
(異議なしの声あり)

会 長：それでは本日も含めて5回にわたり開催してきた水道料金審議会については、これでひとまず役目を終えることになる。役目を終えるということは、私の役目も終えるということになるため、ここで一言ご挨拶させていただく。

## 会長挨拶

公共料金等の改定については、多くの人が関係してくるため、慎重かつ慎重に行う必要があるため、各委員の皆様については、重責を担ってこの審議会に参加していただいたと思う。

意見等もたくさんいただき、方向性が出されたことについては、私は良かったと思っている。

つたない会長であったが、皆様のご協力で円満にこの審議会が終わることができることに改めてお礼申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

## 副会長挨拶

ただいま会長が申し上げたことが全てである。

事務局の皆様や各委員の皆様のご配慮・ご協力により、何とか最終の答申書をまとめることができたと思う。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

## 加藤局長お礼の挨拶

企業長に代わり、私からお礼を申し上げる。

今回、峯村会長、高村副会長をはじめとする構成3市1町からの12名の委員の皆様方、また、学識経験者として國學院大學北海道短期大学部から佐野先生、公募委員として滝川市の今野委員を加え、1月15日の第1回審議会から数えて5回の会議にご参加いただき、併せて積極的な議論を重ねていただいたことに対し、厚くお礼申し上げます。

皆様方のご審議により答申案が固まり、会長、副会長による企業長答申を残すのみとなっている。その後、水道料金改定については、企業団議会で審議される予定であり、昨日開催された臨時会において水道料金改定について審議される「水道料金等調査特別委員会」が設置されたが、この審議会の答申を十分尊重した上で議会での積極的な議論がなされることを期待するところである。

さて、現在の水道行政については、審議会の中でもご説明させていただいたが、水需要の減少傾向、技術の承継問題、施設・管路の老朽化・耐震化対策の3つが大きな課題となっており、これらの課題を解決するため、向こう10年間の基本構想として安全・強靱・持続の3つをキーワードとする「中空知広域水道企業団水道事業ビジョン」を本年2月に策定したところである。

このビジョンに基づき安心・安全な水を作り続け、健全経営を維持していくことが私ども企業団の使命と考えており、皆様方におかれても、今後とも水道行政への深いご理解とご指導を賜りたく、改めてお願い申し上げます。

以上簡単ではあるが、審議会委員の皆様へのお礼の挨拶に代えさせていただきます。

## (2) その他

特になし

## 3 その他

### (1) 事務連絡

特になし

## 4 閉 会 会 長